



UR都市機構

7 月 1 日 タイ・バンコクに UR 駐在員事務所を開設 TODなどの都市開発の支援を強化します

令和 6 年 7 月 1 日（月）、独立行政法人都市再生機構（以下、UR 都市機構）は、タイ・バンコクに駐在員事務所を開設します。海外の駐在員事務所は、オーストラリアのシドニー事務所に次いで、2 拠点目となります。

UR 都市機構は、平成 30 年に施行された「海外インフラ展開法」に基づき、都市開発分野における日本企業の海外展開支援業務を行っております。一方、近年、急速に都市鉄道整備が進む東南アジアでは、鉄道の整備と一体となった都市開発（TOD※1）が環境負荷低減の面等から注目されています。UR 都市機構はこれまで日本国内において虎ノ門（東京都港区）や梅田（大阪府大阪市）等、約 180 地区 約 22,000ha の TOD プロジェクトを実施しており、そのノウハウを活かし海外での TOD を支援しています。中でもタイにおいては、UR 都市機構はタイ国有鉄道等と MOC（※2）を交換し、バンコクのバンスー地区等の TOD を支援して参りました。

6 月 19 日（水）には、国土交通省と UR 都市機構が共同で、タイ・バンコクで「TOD フォーラム」を開催しました。当フォーラムにはバンコク都チャチャート知事、タイ運輸省チャヤタン事務次官、在タイ日本国大使館大鷹大使等が参加し、TOD に関する様々なプレゼンテーションや活発なディスカッションが行われ、タイでの TOD への強い期待が感じられるイベントとなりました。

今後、UR 都市機構はタイにおいて、駐在員が常駐することで、現地政府や民間企業との関係を深め、現地の TOD をはじめとする都市開発等の情報収集を強化して参ります。これにより、都市開発分野における日本企業の参入支援と、日本の知見提供を進め、現地の都市環境の改善に貢献して参ります。

■ バンコク事務所



石田理事長（中央）及び駐在予定職員（左右）

■『TOD フォーラム & UR バンコク駐在員事務所プレオープニングセレモニー』



イベントの様子（出席者側）



事務所開所スピーチの様子

※ 1 : TOD(Transit Oriented Development)

TOD とは、公共交通機関の利用を前提とし、自動車に依存しない社会を目指した都市開発のことです。1993 年に米国の都市計画家ピーター・カルソープが、自動車脱却社会を目指し公共交通を指向する都市づくりを提唱したことで、TOD の概念が広まりました。

※ 2 : MOC(Memorandum of Cooperation・協力覚書)

令和 2 年 12 月 15 日(火)、UR 都市機構、タイ王国運輸省、タイ国有鉄道及び日本国国土交通省の 4 者間でバンコク・バンスー中央駅周辺における都市開発の事業推進について相互協力する旨の覚書を交換しました。

■UR バンコク駐在員事務所の概要

所在地：Just Co Si Lom Edge 内オフィススペース

〒10500 Silom Edge No.2,12F, S12022, Silom Road, Suriya Wong, Bang Rak ,Bangkok

駐在予定職員：2 名

事務所位置図：下図（バンコクメトロ MRT ブルーライン Si Lom 駅直結）

